

平成29年2月21日

長久手市議会副議長 岡崎つよし

議員派遣結果報告書

平成28年第4回長久手市議会定例会において議決された議員派遣について、下記のとおり報告します。

記

- 1 件名
愛知高速交通株式会社の経営状況に関する議会説明会について
- 2 目的
愛知高速交通株式会社の経営状況の把握
- 3 派遣場所
愛知高速交通株式会社
- 4 期間
平成29年1月23日（月）
- 5 派遣議員
全議員
- 6 概要
 - (1) 出席者（愛知高速交通株式会社）
代表取締役社長 丹羽健一郎
常務取締役運輸技術部長 加藤 寿
取締役総務部長 木佐貫昭二
常勤監査役 鈴木 裕
総務部参事 松井豊明
総務部参事 山田洋一
総務部総務課長 鈴木利充
 - (2) 現在の経営状況等について
説明者：取締役総務部長 木佐貫昭二
リニモ利用者数は、万博閉幕後の平成18年度から平成27年度の9年間で約1.5倍増加している。定期券別では、通学定期は沿線大学が多い影響で利用者数の約4割、通勤定期は約1割を占めている。通勤定期は9年間で2.3倍増加しており、定期外利用も徐々に増加している。
利便性向上のため、平成28年3月にリニモ全駅にICカードを導入しており、利用率は現在7割程度である。また、12月にイオンモールやイケア

のオープンによる利用者の増加を見据え、ダイヤを改正した。

現在の経営状況としては、平成26年～28年度に沿革市、愛知県、民間企業より総額163億円の二次支援があり、平成28年9月に長期借入金を完済した。経営改善計画（平成26年～30年度）には、「5年間（平成26年～30年度）の減価償却前営業損益の黒字累計額9.5億円」を経営目標としており、委託業務の直営化による経費削減などを現在進めている。なお、平成26～27年度の黒字累計額は、目標額の37パーセントとなる3.5億円となっている。

リニモは平成17年3月の開業以来、無事故運行を続けている。引き続き安全・安定輸送を第一に取り組み、経営改善計画の達成を目標として将来の設備更新を見据えて引き続き経営努力を行っていくとのことだった。

(3) 現場視察

車両基地及び運転指令室を視察した。運行システムの中核である運転指令室は、24時間稼働しており、現在運行しているリニモだけではなく基地内のリニモまで監視されていた。



7 感想

磁気浮上することにより、51トンの三両編成が片手で動かすことができることには、改めて驚いた。また、運転指令室では無人自動運転であるリニモならではのシステムを見学し、今後も引き続き安全・安定輸送に取り組んでいただきたいと感じた。